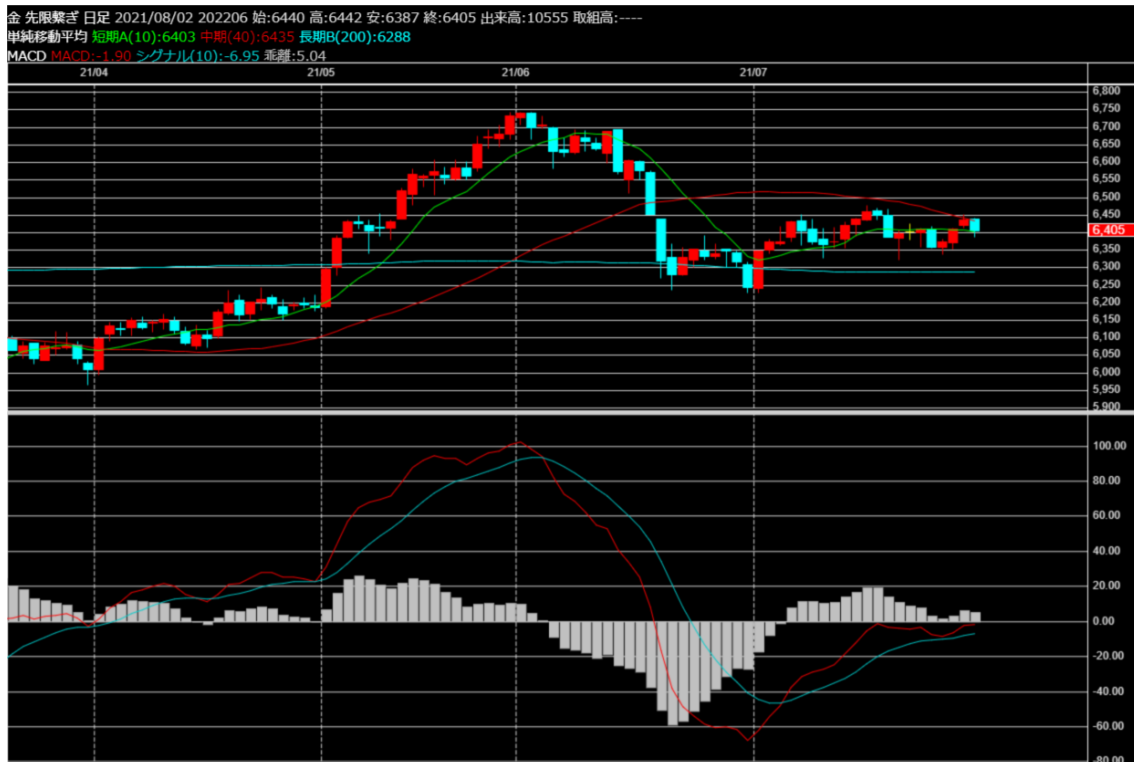


## <金標準先物、戻り高値 6479 円超えを試すか>



(出所：オアシス)

中国政府が教育関連テクノロジー業界に対する包括的規制を発表し、学校の教科課程に関する学習支援サービスを手掛ける企業に非営利団体への転換を求めるほか、増資や株式公開を禁止する方針を打ち出している。そのため中国政府の規制強化のリスクを嫌い、米国市場の中国大手企業 98 社で構成するナスダック・ゴールデン・ドラゴン中国指数が 19%を超える下落を見せている。また FOMC では、パウエル FRB 議長が記者会見でテーパリングについて「その段階にはない。そうした状況に達するにはまだ距離があると、われわれは考えている」と述べるなど従来の主張を繰り返している。

そのため中国の信用リスクとテーパリングの開始時期の後退で先週の金標準先物は 6450 円を試す値動きを見せており、7 月 15 日に付けた高値 6479 円を今週に塗り替える事が出来ると、レンジ離脱に伴い 6550 円に向けた値動きが予想される。

(2021 年 8 月 1 日記載)

## <テクニカル>

金標準先物の日足を MACD で見ると、MACD がシグナルを上回った状態でシグナルが切り上げており、そのため MACD とシグナルの乖離を示すヒストグラムでも強気を継続した状態である。また移動平均線でも 10 日移動平均線が 6403 円で下げ止まりながら、日足が 10 日移動平均線で下げ渋り、40 日移動平均線が下げているため、今週中にゴールデンクロスサインが発生する可能性が高く、チャートパターンでは強気に傾き易い状況でないかと思われる。